

平成26年度

— 第5回（定例・臨時） —

教育委員会会議録

開 会	平成26年 6月 6日	午前 午後	3時00分			
閉 会	平成26年 6月 6日	午前 午後	3時50分			
会議場所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	欠	高本恭子	出	吉田育弘	出
議事録署名	教 育 委 員 長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議 案 及 び 議 事 内 容	結 果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 県費負担教職員定数条例等の一部改正について（秘密会）</p> <p>議決事項 2 奈良県産業教育審議会委員の選任について（秘密会）</p> <p>議決事項 3 奈良県文化財保護指導委員の委嘱について（秘密会）</p>	<p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p>
<p>○花山院委員長「ただ今から、平成26年度第5回定例教育委員会を開催いたします。本日は、藤井委員が欠席ですが、定足数を充たし委員会は成立しておりますので、これより委員会を開催いたします。」</p>	
<p>○花山院委員長「議決事項 1 から 3 につきましては、現時点では未公表の事実に関する案件及び人事に関する案件であるため、秘密会において審議すべきものと考えます。」</p> <p>「委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p>※ 各委員一致で可決</p>	<p>可 決</p>
<p>その他報告事項</p>	
<p>○花山院委員長「それでは、報告・連絡事項等はございませんか。」</p> <p>○教育長「その他報告事項が 3 件ございます。学校支援課長から 1 件、学校教育課長から 1 件、教育研究所参事から 1 件を、続けてご報告いたします。」</p> <p>1 公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について</p> <p>○学校支援課長「平成26年 4 月 1 日現在で文部科学省が調査しました公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について報告します。構造体の耐震整備状況、つまり、コンクリート造、鉄骨造等の躯体部分についての耐震化整備の状況となっております。まず、幼稚園と小・中学校について、奈良県の耐震化整備率は全国平均と比べ、いずれも前年度から差は縮まっていますが、依然として全国平均を下回り、40位及び31位という状況です。なお、現在39市町村の内、25市町村の小・中学校の耐震化は完了しています。次に高等学校です。高等学校には、一条及び高田商業の市町村立の学校が入っていますので、県立学校のみを取り上げると69.9%となっております。昨年度から5年間を耐震化整備の集中期間として取り組んでおり、今年度21棟の整備を目指し、それが完成すると77.1%まで上がります。次に、特別支援学校です。98.8%ということで明日香養護学校の1棟が本年度取り壊しの予定で、それが完了すれば、来年度には100%になる見込みです。次に、非構造部材の耐震点検、耐震対策の状況についてです。天井材等が該当します。一定規模以上の大規模空間施設を持つもので、高さが6mを超える天井部分あるいは面積が200㎡を超えるようなものということで、体育館等が対象となっております。屋内運動場等のうち、つり天井を有するものとそれ以外のものの整備状況です。東日本大震災において、つり天井が落下して亡くなられたあるいは怪我をされたということがありましたので、『平成27年度までに対策を』と言われている部分です。幼稚園、小・中学校については、つり天井部分について、幼稚園が1棟中点検対策が0、小・中学校については16棟中、点検が6、耐震は0という状況で、特に点検については、専門家が行う必要がありますので、なかなか進まない状況です。高等学校と特別支</p>	

議案及び議事内容

援学校については、高等学校18棟中、17棟が県立学校分です。県立学校は17棟全てについて、平成25年度点検済みです。本年度から設計、一部工事に入り、おおむね27年度にはつり天井の撤去を行いたいと考えています。特別支援学校についても点検を終わっていますので、同様の措置をとりたいと考えています。次に、人に重大な被害を与える恐れのある箇所について、学校単位の点検及び対策についての状況です。この点検については文科省発行のガイドブックに沿って、学校の教職員が点検をしても点検したことになるものです。まず、幼稚園と小・中学校です。いずれも全国平均よりかなり低い状況です。県では、各市町村に教職員による点検を推進してもらうよう毎年お願いしていますが、現状ではこのような状況です。点検を行った後、対策をした割合についても低い状況です。高等学校及び特別支援学校について、県立の高等学校については毎年学校の教職員に全て点検をさせているので点検は100%です。また、対策についても緊急箇所については全て対応していますので100%です。特別支援学校についても、点検、対策ともに全て終わっています。」

2 平成26年3月中学校卒業者の進路状況について

○学校教育課長「4月10日現在、学校教育課で調べた結果の報告です。本年3月の中学校卒業者は14,084名で、昨年に比べ48名の減となり、ピーク時であった平成元年3月の卒業生数23,876名の約6割となっています。また、高等学校への進学者は昨年に比べ61名減の13,743名でした。この中には、工業高等専門学校、中等教育学校後期課程、通信制課程への進学者を含めています。続きまして、特別支援学校への進学者は148名、就職者は17名、専修・各種学校進学者は81名、その他が95名となっています。その他の内訳は、再受検の準備者19名、家事従事者など76名となっています。次に、進学率等の推移について申し上げます。まず、進路状況別進学率等の推移についてですが、本年3月の卒業者の高等学校への進学率は97.6%と、昨年に比べ0.1ポイント減となっております。一方、特別支援学校への進学率は、0.1ポイント増となっております。就職率は0.1%で増減なしであり、専修・各種学校の進学率は昨年に比べ0.1ポイント減となりました。次に、県内高等学校への進学率の推移についてです。県内高等学校の全日制課程と定時制課程への進学率は86.5%と、昨年に比べ0.3ポイント増となっています。次に、へき地、準特地以上の中学校卒業者の高等学校進学率の推移についてですが、へき地指定されている月ヶ瀬中学校や曾爾中学校といった14の中学校から高等学校への進学率は99.3%でした。昨年に比べ0.1ポイント増となっています。最後に、高等学校進学者数13,743名の内、定時制と通信制の課程を除いた全日制課程に進学した者は13,436名になります。この内、県内の全日制課程へは11,874名が進学し、その内、県立高校には約61.0%にあたる8,193名が進学しました。また、私立高校には約21.5%にあたる2,892名が進学しています。一方、県外の全日制課程には、1,562名が進学し、内、県外私立高校には約10.8%にあたる1,449名が進学しています。なお、県外中学校から奈良県内の全日制課程の高等学校への進学状況を参考として掲載してあります。国公立には165名、私立には750名が進学してきています。」

3 「教育セミナー2014」について

○教育研究所参事「5月30日金曜日に教育研究所において開催しました。今年度は、『共に学ぶ共同型、双方向型の学びの確立を目指して』というテーマで実施しました。全体会ではテレビ会議システムを使い授業風景を再現しながら共同性、双方向性を取り入れた学びづくりの視点について提案しました。会場の参加者と共に授業のあり方について考えることができました。また、21の部会に分かれ、平成25年度の指定研究員、長期研修員、教育研究所の研究指導主事等が取り組んだ調査や研究成果などの発表を行いました。写真は、開会式と全体会の参加者とのやりとり、学習意欲に関する研究発表と長期研修員のコミュニケーション能力の研究発表の様子です。また、新たな企画として組み入れた教員志望の大学生と参加された先生方との語り合いコーナーの様子です。たくさんの方に参加していただき、話し合いが深まりました。館内ロビー等では、教材教具等の展示、教育委員会各課、室、及び、教育研究所の取組のパネルを展示しました。当日

議案及び議事内容

は、幼稚園、小学校、中学校、県立学校の教職員を中心として400名を超える多くの皆さんの参加を得て、盛況の内に終わることができました。参加者のアンケートを現在集計中ですが、全体会については『情報機器を活用した新たな取組に感心をしました。』『具体的な授業場面を設定し学びについて考える機会を提供していただき大変参考になった。』といった感想や、研究発表については『これからの情報社会に必要な知識をいただいた。』といったような感想もいただき、明日からの現場での実践につながる新しい視点との出会いの場を参加者に提供するというセミナーの趣旨が果たせたのではないかと考えています。今後、アンケートの内容を精緻に分析し、次年度の企画に生かしていきたいと考えています。なお、当日の様子について6月18日水曜日午後6時から奈良テレビ放送の『ゆうドキッ!』という番組の中の、『なら教育レポート～まなびだより～』の中で放映予定です。」

○花山院委員長「報告いただいたこれらの内容について、ご意見、ご質問はございませんか。」

○佐藤委員「耐震改修について、県の予算がないなどの問題があり難しいと思いますが、地震はいつ来るか分からないので悠長にしていけないのかなと思います。」

○学校支援課長「平成25年度から耐震化集中期間としていますが、昨年度は前年度より倍以上の予算措置、今年度についても、昨年度より2割増の予算措置をして、かなり多くの棟数を整備しています。国は、平成27年度が一つの目安ということで、小・中学校、県立学校ともに、27年度を目途にということをやっています。国も平成27年度までというのは難しいということが新聞報道されていましたが、奈良県では、ひとつの目安として、平成29年にはおおむね耐震化を完了させたいと思っています。ただ、一部改築は残ってきます。どうしてもコンクリートの補強は弱く、改築しなければならないところがありますので、おおむね94～95%にはしたいと取り組んでいます。」

○森本委員「中学校卒業者の進路状況について、へき地の中学校卒業者は高くなっています。県の子どもたちを受け入れる寮制度の現状と稼働率を教えてください。」

○学校支援課長「県立の施設として、橿原に男子寮の畝傍寮と女子寮のかぐやま寮があります。県内の生徒を中心に、へき地から通われている生徒さんに入ってもらっています。おおむね4～5割の入居率です。畝傍寮は50名の定員でかぐやま寮は48名の定員に対し、半数以下の入寮数です。」

○森本委員「キャパは十分にあるということですね。」

○花山院委員長「奈良県は耐震化率が低いですが、特別支援学校から順次やっていくという方針と聞いています。耐震の非構造部材の点検率と対策率について、幼稚園と小中学校で、全国平均に比べると低いです。市町村教育委員会のことだとは思いますが、点検は対策に比べるとやりやすいので、点検を増やしていかないといけないと思います。もう一つは、耐震化が進んで100%になることが目的だとは思いますが、次の段階として、どこに断層があるのか、学校の近くや校舎の下を通っているのか、大まかにでも調べていかなくてはいけないと思います。」

○学校支援課長「非構造部材の小・中学校を中心とした市町村の点検率についてですが、『非構造部材についてはガイドブックに沿って必ず点検をしてください』と要請しています。また、市町村の教育長に集まっていたくときにもその都度お願いしていますが、まだ、このような状況です。もう一点、点検をしないと対策に反映されないということで、去年点検をして対策をしても、今年度点検をしないと対策率は反映されません。小中学校の非構造部材の耐震の対策率は、昨年度は16.1%でしたが、今年度は11.6%と下がっています。全国も今年度58.6%ですが、昨年度は60.2%でした。これは、毎年点検することになっておりまして、対策をしても翌年度点検をしないと反映されないという状況になっています。『まず、点検を』ということをお願いしてい

議 案 及 び 議 事 内 容

ますが、なかなか実施していただけていない状況です。県から率先して、100%やっているという状況です。断層の関係で委員長からご意見をいただきましたが、IS値という構造耐震指標で0.7以上であれば文科省は震度6強以上の地震でも壊れる心配はまずないと言っています。また断層についても一部どこにあるのか、学校の近くにあるというのを既につかんでいる部分もあります。ただ、今は一律に耐震補強をしています。内容については十分に認識していますので、今後対応させていただきます。」

○花山院委員長「去年も同じ質問をして、お願いしており、『来年は強くお願いしてください』と言った記憶があります。ご努力していただいているので、現場でしていただくしかないかと思っています。特に耐震については、点検も是非とも進めていただきたいと思います。もう一つ、奈良県の中学卒業者についてよく調べていただいております、よく分かります。一つだけ、県外の私立に出て行く生徒は、多くいるのは分かっていますが、この数値はどのように推移していますか。10.8%は増えつつあるのか減りつつあるのか、どれくらい県外へ流出しているのか、また教えてください。」

○松田次長「私立学校の所管をしていました。7～8年前、奈良県から県外へ1,500、県外から奈良県へ1,000、おおむねそれぐらいだと思います。」

○花山院委員長「現在、高校、大学が同じ経営者のところは、大学の生徒をとりたいと一生懸命やっているという傾向がありますので増えているのではないかと思います。」

○教育長「あまり増えてはいません。」

○花山院委員長「他にご質問はありませんか。」

※ 各委員了承

○花山院委員長「これらのその他報告事項については了承いたします。」

○花山院委員長「では、次に秘密会に入ります。」

議決事項1 県費負担教職員定数条例等の一部改正について（秘密会）

議決事項1について、教育長、教職員課長から説明があり、全委員一致で可決された。

議決事項2 奈良県産業教育審議会委員の選任について（秘密会）

議決事項2について、教育長、学校教育課長から説明があり、全委員一致で可決された。

議決事項3 奈良県文化財保護指導委員の委嘱について（秘密会）

議決事項3について、教育長、文化財保存課長から説明があり、全委員一致で可決された。

○花山院委員長「本日の議案はすべて終了いたしました。この他に報告、連絡事項等はありませんか。」

○花山院委員長「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」